

12月いきいき健康法

閉講式

第25回ことぶき教室も12月1日をもって最終回を迎え、閉講式を行いました。9月にベレンへ赴任した沼田行雄総領事を講師としてお迎えし、「いきいき健康法」をテーマにお話ししてくださいました。

沼田総領事はベレン総領事に着任される以前、今年2月にニュージーランドのクライストチャーチ市で起こった地震で、日本の国際緊急援助隊団長として現地で行方不明者の捜索にあたっていました。震災など大きな災害で肉親が亡くなったり、家財を損失するなどの強い精神的ショックを長期間受けると、脳の緊張状態が続き、脳が疲労し、やがては病気になるてしまっそうです。

今回の講義では、脳の中で最も重要で、生命の中枢ともいえる脳幹の疲れを取るのに効果的な「バランスセラピー」について紹介されました。総領事実演のもと、脳幹に直接働きかける僧帽筋のストレッチを二人一組で実践。これは、ゆっくりじわーっと圧を加えて行うマッサージで、誰でも簡単に行うことができます。医学的効果が期待できるのは10〜15回行う必要があるそうです。実際総領事からマッサージを受けた受講生は、「とても気持ちよくて、すっきりしました」と話していました。

はつらつと生きるためには、脳を元気に保つのが大切。そのためには意図的な働きかけが必要です。生活習慣の改善や発想の転換で脳を健康に保ちましょう。

総領事による講演の後、閉講式を執り行いました。全10回の講座のうち、7回以上出席した受講生には修了証書が授与され、またご協力いただいた講師の皆さんには感謝状が贈呈されました。

閉講式後、諸石福祉委員長の音頭で乾杯をし、カクテルパーティーで楽しみました。



▶ 総領事による僧帽筋ストレッチの実演

編集後記

■ 援協便り100号

「援協便り」は今号で100号を迎えることができました。読者の皆様へ感謝申し上げますと共に、これまで援協便りに携わられた諸先輩方に敬意を表します。今後ともご愛読をよろしくお願いいたします。

■ 新連載について

元JICA青年ボランティアで管理栄養士の板垣香織さん（現在サンパウロ在住）による「いつまでもおいしく食べるために！」の連載は、「続・いつまでもおいしく食べるために！」に生まれ変わって、新連載を開始しました。ブラジルで暮らす日系人向けの栄養コラムです。どうぞご期待ください。

(田中)

デカセギくんなどきょうしつするん。

番外編 震災後の日本で活躍するブラジル人／震災後の帰伯者動向

■看護助手 ブラジル人のロペスさん、震災後も残り奮闘「夢かない、もっと勉強したい」

日系ブラジル人らが多く暮らす浜松市の聖隷三方原病院（北区三方原町、874床）で4月から、ブラジル人のロペス・ロベルタさん（36）Ⅱ同市中区Ⅱが看護助手として本格的に働き始めた。同病院によると、ブラジル人が看護助手として病院で働く例は全国的にも珍しいという。3月11日の地震では母国の家族から一時帰国を促されたが、「夢がかなった。もっと勉強したい」と説得。慣れない漢字を学びながら、懸命に仕事に打ち込んでいる。

ロペスさんは約11年前、日系ブラジル人の夫エイジさん（38）と来日。約7年前から浜松市の工場で働き始めた。昨年、浜松国際交流協会が開く「介護のための日本語教室」を知り、転職を決意して受講した。求職活動を経て昨年12月、この病院の産婦人科病棟で働き始めた。

看護助手の仕事は、おもに患者の身の回りのお世話。シーツの取り換えや食事の配膳、検査の手伝いなどで、4月から1人で任されるようになった。

ロペスさんはA6サイズのノートを愛用。「胎盤」「内視鏡」など専門用語の漢字とひらがなや、気になった言葉などをメモしている。折り目やシールなども付けて工夫し、日本語の上達や知識の積み重ねに励む。

病院によると、ここでも出産する約4%がブラジル人という。ロペスさんはブラジル人患者ら用件を聞いたり、世間話に応じたりもしている。看護部の鈴木百合子課長は「患者さんがとてもリラックスできているようだ」と評価する。

ロペスさんは「休みの日の次に、患者さんから『いなくてさみしかったよ』と言われてうれしかった」とやりがいを感じ、今後も仕事を続ける考えだ。

ただ、地震後間もなく、母国の母親から電話があり、「地震が危ない」として帰国を促された。しかし、ロペスさんは「ブラジルは治安が悪い。日本では子供が1人で外で遊べる。どこにいても100%安全な場所はない」と説き伏せ、理解を得られたという。

ロペスさんは、高校進学後の将来に迷うケースが多い同胞の子供たちを思い、「自分がやりたいと思えば道は開けて、いろんな問題が乗り越えられる。私のような職種に就く若い人が増えてほしい」と訴えている。

【毎日新聞 竹地広憲記者】

■震災後帰伯者は約3千人

東日本大震災が起きた今年3月の末から3ヶ月間に日本を出国したブラジル人は3882人であることが日本の法務省の調べ（7月29日発表）でわかった。

【ニッケイ新聞より抜粋】

会員再登録

当協会の会員登録システムの老朽化に伴い、このたび、新システムの導入を開始することとなりました。

会員の皆様宛に会員再登録用紙をお送りしますので、お手数をお掛け致しますが、必要事項をご記入の上、会員ご本人と扶養家族の必要書類（①身分証明書、②CPF、③住所証明書等の写し各一部ずつ）とあわせて、用紙到着後30日以内に事務局宛にご返送いただきますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

91-3184-7689

（担当 成田、村上）



健康ひろば

食へ物と健康

身近な果物でもっと健康②

「マンゴー」



宮崎県の東国原知事※が宣伝してよく知られるようになりましたが、マンゴーはチエリモヤやマンゴスチンとともに世界三大美果の1つに数えられています。マンゴーのほとんどが水分で(約80%)、βカロテン、ビタミンA、C、カリウム、クエン酸も含まれています。特にビタミンAの含有量は果物の中でもトップクラスに位置し、マンゴー1個で1日の必要摂取量を摂取することができます。

ビタミンAは、目や皮膚の粘膜を保護するので、夜盲症や皮膚病を予防し、ガンの予防にも効果が期待されています。また、マンゴーのビタミンCとβカロテンは、鉄分と結合し、体内で吸収されやすくなります。

造血作用のある「葉酸」も多く含まれ、貧血予防や母乳の出をよくする効果もあります。腸の働きを整える食物繊維も多く便秘改善にも役立つでしょう。ナトリウムの排出を促進するカリウムも比較的多く、高血圧や動脈硬化、脳梗塞や心筋梗塞予防にも作用します。

さらにマンゴーには脂質やタンパク質の分解を促す効果があり、肉料理などの脂っこいものを食べた後に最適です。

マンゴーは「ウルシ科」の果物です。人によっては果汁に触れるとかゆくなったり、かぶれたりします。アレルギーのある人は十分注意してください。

※記事掲載当時

(百歳万歳 2010年9月号)

コラム

いつまでもおいしく食べるために!

☆コレステロール・中性脂肪のコントロール

板垣香織(管理栄養士)

悪玉(LDL)血中コレステロール値が基準を超えている場合には、1日のコレステロール摂取量を300mg以内に抑えることが推奨されています。コレステロールが多い食品は、鶏卵1個/250mg、レバー類牛レバーひと塊(約60g)/145mg、えび2尾(約40g)/60mg、動物性油脂(バター、肉の脂身、生クリーム類)バター大さじ1杯/30mg等です。例えば鶏卵を1個食べると1日に必要なコレステロール量の約80%を摂取することになります。コレステロール値が高く、毎日卵を1個食べる習慣のある方は、週3回にする、1回量を半分にする等、現在より頻度や量を減らし数値がどう変化するかを確認してみましょう。コレステロール値が標準の方は男性750mg未満、女性600mg未満が目標準です。

食物繊維を多く含む食材(野菜やおから、こんにやく等)は悪玉コレステロールの吸収を抑える、またオリーブオイルは、悪玉コレステロールを低下させる働きがあります。善玉(HDL)血中コレステロールを増やすには、青い背の魚(いわし等)、散歩がおすすめです。たばこは善玉コレステロールを低下させます。

中性脂肪が基準を超えている場合には、砂糖や砂糖が含まれている食品(お菓子や清涼飲料水)、果物、アルコールの摂取頻度、量を確認してみましょう。夕食後にお菓子や果物を食べる習慣のある方は夕食前までに食べるのがおすすめです。中性脂肪は、夕食後等食べてから体をあまり動かさない時に体に蓄えられやすいためです。

コレステロール・中性脂肪のコントロールで共通するのは、食へ過ぎを避けることです。食事の絶対量が多いと摂取するコレステロール量、体内に蓄積される中性脂肪量も増加します。



健康ひろば

食べ物と健康

身近な果物でもっと健康③

「パイナップル Abacaxi」



パイナップルの名前の由来は、松かさ(PINE)とりんご(APPLE)で、松ぼっくりのような形状とりんごのような酸味のある甘さから来ています。日本で販売されているものの多くが輸入品で、中でもフィリピン産が8割以上。

パイナップルは1000年以上前から南米で栽培されていました。そしてコロナブスの探検隊が西インド諸島でパイナップルを発見、世界各地に渡来しました。日本には江戸時代末期にオランダ船によって運ばれたといわれています。

パイナップルにはマンガンとビタミンB1が比較的多く含まれています。マンガンは骨や関節の形成やエネルギー生成などに働きます。糖質の分解を助け、代謝を促すビタミンB1も多く含み、さらにビタミンB2やC、クエン酸なども含まれ、疲労回復や夏バテ、老化防止などに効果があります。また、カリウムも多く含まれているので高血圧予防や動脈硬化予防などに期待できるでしょう。

タンパク質分解酵素のプロメリンが含まれているので、肉類を食べた後に、デザートにして食べると、肉をやわらかくし消化を助けます。胃液の分泌も活発にし、消化を促進しますので、食後の胃もたれを防ぎ、胃腸の健康を保つのに効果があります。(プロメリンは熱に弱いので、60度以上に加熱するとその効果が失われてしまいます)。また、プロメリンには腸内の腐敗物を分解する作用もあるので、消化不良や腸内のガス発生などの症状にも有効です。

さらに、パイナップルには食物繊維も豊富に含まれています。食物繊維は便通を促進し、コレステロールや体の毒素を排出する作用により、大腸がん、動脈硬化、高血圧症を予防する働きがあります。また、胃や腸の中で水分を吸収して膨らみ満腹感を与えるため、食べすぎを防ぎ、ダイエットに効果的。

未熟な果実には針状結晶の「シュウ酸カルシウム」が多く含まれていて、消化不良を起したり、舌がヒリヒリしたり、口の中が荒れることがあるので注意してください。

(百歳万歳 2010年8月号)

コラム

続・いつまでもおいしく食べるために！

☆食欲コントロールについて

板垣香織(管理栄養士)

食欲には、生物が食物の摂取、エネルギー消費、排泄という生理作用を円滑に営み、生命を維持するための本能的食欲と、視覚、味覚、触覚、嗅覚、聴覚など感覚器からの刺激によって生じる精神的食欲、心理的刺激で起こる食欲があります。食欲は食物に対する過去の経験的発想や情緒、感情によって左右され、具体的には目で見た物(視覚)、匂い(臭覚)、音(聴覚)などで、その時の気分によりお腹がすいていなくても食欲が出たり、何も食べていなくても食欲がなかったりすることがあります。食欲を高めるのに効果的なポイントを挙げます。

①視覚

人間には視覚的に捕らえた美しい物を好む自然な情緒があるため、料理の色や形、食器などを美しく整えることが大切です。

②臭覚

臭覚の感じ方には個人差がありますが、匂いから個々の嗜好により美味しい味を連想した時、食欲を増す方に働きます。

③聴覚

おいしい料理を作っているということや音を連想させるような包丁の音などが食欲に関係します。

お腹いっぱい状態でも好きな物なら食べられる別腹も精神的食欲の1つです。食べ過ぎを防ぐには、食べる量だけ取り分け、残りはしまっておく、買い物へ行っても嗜好品コーナーへは寄らない等、視野に入れない工夫もおすすめです。

「おいしそう。良い匂い。」誰かと食事をしている間に生まれる会話には、これらの項目を確認する言葉が多く聞かれます。また会話から生まれる笑顔は、ガン細胞を破壊したり、ガンが発病してからも手術や放射線などの治療効果の向上に影響するナチユルキファー細胞を増やします。「みんな食べておいしね。」家族、仲間、大切な方たちと食卓を囲むひとときが食欲のコントロール、心身の健康につながっています。

当協会の主な動きと課題

2010年3月に臨時総会と定期総会が開催され、医療保険制度の今後、土地の売却、特別委員会の設置などが決議されました。同年5月に臨時総会が開催され、医療保険の登録の正常化、土地の3箇所の売却、福祉厚生ホーム部門の独立、新福祉法人の創設が承認されました。

2011年3月に定期総会が開催され、この3点の進行状況につき、報告されました。

2011年7月に臨時総会が開催され、理事会としては福祉新法人の設置は中止の意向だったが、会員の反対が強く、急遽、福祉新法人の設立を進めると約束し、厚生ホームの土地売却位置と面積(25.000㎡)の変更は承認されました。

その後、福祉新法人創立委員会を設置し、2011年8月に第一回目を開催し、福祉新法人創立に向けて再出発しました。

厚生ホームの土地の売却手続きは2011年12月現在、いよいよ最終段階に入っております。

この土地の売却に関して、諸理事より次のコメントがあります。

「土地売却に際しまして、当理事会では公募にて入札制の形式を採りました。その中で最高値を提示したのは、私の娘が仲介した業者の七百五十万レアルでした。理事会はその最高値を採択し、契約書に従い三十万レアルを頭金として受け取っております。後は、必要書類が揃い次第、契約が成立する段取りとなっております。」

しかし、私は理事会の一員です。『諸

理事の良からぬ魂胆があるのではないか?』等の要らぬ疑いを持たれない様にす為、娘の受取る『仲介手数料(2,5%)約十八万レアルは全額を厚生ホームに寄付する』と云う約束の下、娘に仲介役を許可した事で会員の皆様のご理解が頂けると信じています。

土地売却金の使途につきましては、明細書ならびに試算表が作成され次第、臨時理事会にて検討した後、臨時地方委員会または臨時総会を開催する運びとなっております。」

当アマゾン日伯援護協会の運営に大きく関わる新慈善団体法12.101号が2009年11月に発令され、現在のところ、当協会の慈善団体資格は2012年11月まで継続される可能性が高く、それまでは雇用主側のINSSの免税が続く見通しです。

この法令に従い、2012年11月以降も慈善団体を継続するには、アマゾン病院、十字路アマゾン病院でSUSを60%受け入れることが条件であり、審議を重ねた結果、SUSを60%受け入れることは採算ベースには乗らず、受入は不可能との結論が出ました。

今後(2012年11月以降)、当協会は非営利団体として、INSS雇用主側を支払いつながり続けることとなります。

一方、ANSが管轄する医療保険は管理手続きが非常に複雑になり、すべて、ANSへ申請、許可、報告等が義務つけられ、同時

に当協会のANSへの保証積立金は70万レアルを超えています。

現在、医療保険の正常化を進めておりますが、かなりの時間を要することが判明し、この正常化が終わるまでは医療保険の売却は不可能となりました。

それから、現在の医療保険法と慈善団体法では次のような矛盾した法令が発令されています。

それは、ANS法では、医療保険は他の事業との混合経営は認めず、医療保険のみのCNPJ、独立決算書を命令していますが、慈善団体法は福祉、病院(医療保険含む)、教育等の混合経営は認めており、当協会は慈善団体法に従う関係上、裁判所にリミナーをいれ、一時的に混合経営を許可されております。

このリミナーは何時中止されるかはわからず、もし中止されると、当協会から即、医療保険を独立、分離させなければなりません。それも、協会資産のうち、600万レアル以上の財産を独立した医療保険会社に分離させることとなります。

医療保険の独立、財産の分離、アマゾン病院の手術室、UTI内装工事、十字路アマゾン病院の正常経営、福祉新法人の創立と厚生ホームの正常経営等々、重要課題が山積みですが、一つひとつ、優先順をつけて解決を図りたいと思っておりますので、会員各位のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

2011年4月～7月 厚生ホームへの寄付、寄贈のお礼

(敬称略)

4月

● 寄付

日野幸生	R\$100.00
小林淳子(職員教育基金)	R\$300.00
カスタンヤール福音キリスト教会(香典)	R\$300.00
匿名	R\$100.00
募金箱	R\$32.35

● バザー用品の寄贈

宮川マルシア、西村芳子、加藤クララ、石津ちえこ、川上セシリア、服部マルガリダ、下小菌トモ、米倉みちよ、瀬古農園、高野昭子、形山千明、滝田操、石塚幸寿、坂内ちよ

● 寄贈

横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、小林淳子、佐藤としえ、清水幸子、五十嵐都代子、森光恵美子、森川佐代子、矢作充子、武田静子、中島恵子、上岡俊子、潁川充子、池田佳代子、生亀テレザ、本田ゆう子、難波スエリー、西村カルロス、野呂恵子、渡辺悦子、河内薫、津田ヨシノ、坂口、DEFENSORIA PUBLICA ESTADUAL GERENCIA DE MATERIAL E PATRIMONIO (中古事務用品:事務机、事務用椅子、戸棚、受話器、変圧器、コピー機、CPU、冷蔵庫、電子レンジ等)、匿名希望(家具:事務机2、事務用椅子、ソファー)

5月

● 寄付

日野幸生	R\$100.00
小林淳子(職員教育基金)	R\$300.00
山口パウロ	R\$200.00
大貫キミ子	R\$300.00
イガラッペアス婦人会	R\$400.00
江越すみ子	R\$520.00
小野ジュゼ	R\$400.00
佐藤多美子	R\$50.00
池田ハマ子	R\$100.00
匿名	R\$180.00
匿名	R\$100.00

● バザー用品

宮川マルシア、石津ちえこ、高野昭子、アーナリヂア、大貫キミ子、形山千明、どあみひろえ、板垣香織、長井エレナ、池田イボネ、久保田セリア、高木イボネ

● 寄贈

横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、小林淳子、酒井ひさえ、坂上あつこ、宮崎東洋子、山本紀子、西尾八州子、石本ようこ、吉野ひろこ、潁川充子、

片所幸子、榎本よう子、碓井よし子、高本悦子、小林みつ子、池田ハマ子、3B体操グループ、安藤淳、江越すみ子、工藤英子、難波商店、日本語普及センター(PC2台)、GRUPO FOREVER(保存食品157kg)、横山あけみ(リハビリ用マット3、畳3、座布団3)、サンタイザベル・サントアントニオ日系学校(日本食150点)セアジニャ中村(スイカ4個)、武田静子(鶏卵120個)

6月

● 寄付

日野幸生	R\$100.00
小林淳子(職員教育基金)	R\$300.00
桜井二子	R\$100.00

● バザー用品の寄贈

形山千明、竹下光子、黒木ゆり、本田ゆう子、高野昭子、本田貴美子、板垣香織、太田勲、佐々木いつこ、諸石まさみ、村上なみこ、越知学園、鯨坂ちえこ、服部ちさ、渡辺悦子、野呂恵子

● 寄贈

横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、小林淳子、宮川すみこ、稲垣けいこ、マリアジュゼ、山根けいこ、白鳩会、清水幸子、山口エウザ、形山千明、板垣香織、酒井ひさえ、柴田マリー、北林ホザナ、渡辺悦子、五十嵐栄祐、冷水金作、諸石輝雄、河内薫、朝野千賀子、野呂恵子

7月

● 寄付

日野幸生	R\$100.00
小野ジュゼ	R\$400.00
高野武広	R\$54.00
笹原エジガー	R\$70.00
横山あきお	R\$50.00
小林淳子(職員教育基金)	R\$300.00
佐藤多美子	R\$100.00

● バザー用品の寄贈

戸高たけし、吉野クリスティーナ、本田ゆう子、佐藤カタリナ、佐藤多美子、朝野、高野昭子、四宮、村田イラセマ、佐々木邦子

● 寄贈

横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、市原ヘジナ、石川エドワルド、伊藤恭子、竹下ミル、森下嘉子、中田つるえ、白鳩会、服部祥子、大江牧夫、佐藤憲司、大橋英子、四宮、工藤あきら、高野昭子、松崎康昭(かき氷用氷250杯分)、笹原エジガー(バザー賞品DVD1台他)、白鳩会(手作り石鱈18個)

2011年8月～11月 厚生ホームへの寄付、寄贈のお礼

(敬称略)

8月

● 寄付	
日野幸生	R\$100.00
小林淳子 (職員教育基金)	R\$300.00
匿名	R\$100.00

● バザー用品の寄贈
服部ちさ、佐々木邦子、マリアジェズス、中田鈴子、原田、柴田マリー、本田裕子、高野昭子、宮川マリオ、篠崎邦子、鯨坂千恵子、市原ヘジナ、丸岡邦子、近藤純子、戸高武、クララ、池上ノルマ

● 寄贈
横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、小林淳子、佐藤多美子、諸石輝雄、宮川すみ子、五十嵐都代子、森川佐代子、石本洋子、梅崎純子、片所幸子、菊永芳子、吉野弘子、榎本陽子、上岡俊子、生亀テレザ、池内佳代子、近藤純子、瀧田操、渡辺悦子、野呂恵子、日野京子、冷水金作、北林ホザナ

9月

● 寄付	
日野幸生	R\$100.00
小林淳子 (職員教育基金)	R\$300.00
石津ちえこ (庭園プロジェクト費)	R\$200.00
中平マリコ	R\$35.00
匿名	R\$100.00

● バザー用品
服部ちさ、松原朝子、アドリアナ、吉野かずみ、中畑、本田ゆう子、高野昭子、佐々木邦子、中田鈴子、森ジャンジーラ、佐々木いつこ、諸石まさみ、山根けいこ、戸高武、アナリジア

● 寄贈
横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、柴田和代、渡辺リツ、大橋英子、火浦信子、木村のり子、石原あけみ、藤山美恵子、善紀美子、瀧田操、本木愛子、小林淳子、佐藤陽子、岡田勢津子、吉野峰雄、坂口みのる、日野京子戸高弥生、野呂恵子、渡辺悦子、清水幸子:生長の家白鳩会、河内薫

10月

● 寄付	
イケダハマコ	R\$100.00
小林淳子 (職員教育基金)	R\$300.00
匿名	R\$100.00

● バザー用品の寄贈
佐々木邦子、渡部千恵子、竹下光子、杉本いつこ、太田勲、マリアテレザ、五十嵐光也、吉野一美、成田アメリカ、小林淳子、大和田智美、山本紀子、レストラン東、戸高武、西村八州子、イガラッペアスー婦人会、波村よつこの、長瀬幸子、清水幸子、谷末、形山千明、小島康蔵、諸富貴美恵、本部、小山たつえ、クラウドジオノナト

● 寄贈
横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、渡部千恵子、小林淳子、清水幸子、宮川すみ子、森光恵美子、山本紀子、宮崎東洋子、石本陽子、松崎愛子、越知イザウラ、河口裕子、篠崎邦子、池田ハマ子、日野京子、渡辺悦子、善紀美子、汎アマゾニア日伯協会、山本エドワルド、岸本友昭

11月

● 寄付	
カスタニャル婦人会	R\$200.00
小林淳子 (職員教育基金)	R\$300.00
サンタイザベル婦人会	R\$200.00
津田ヨシノ	R\$100.00
匿名	R\$100.00

● バザー用品の寄贈
松原朝子、服部ちさ、篠崎邦子、石塚みどり、西村芳子、アマゾニア日伯婦人会、上菌エウザ、小林ホーム、本田裕子、野呂恵子、森田嘉子、伊藤恭子、大橋千代子、成田アメリカ、越知ザイラ、益田ゆくこ、杉本いつこ、汎アマゾニア日伯協会、村上なみこ、笹原エジナ、森ジャンジーラ、四釜チョウ、岡田久三、高野昭子

● 寄贈
横山商店、森川商店、畠山商店、黒畑商店、高野昭子、汎アマゾニア日伯協会、篠崎邦子、小林淳子、酒井ひさえ、牧野昭子、柴田和代、難波スエリー、佐藤陽子、及川静子、サンタイザベル・サントアントニオ婦人会、吉田なつえ、小松妙子、野呂恵子、日野京子、浅田千賀子、河内薫、渡辺悦子、板垣香織

死亡通知並びに会葬御礼

長男、和彦(四十三歳)、去る三月四日、アマゾンニア病院において永眠いたしました。同日、バルキ・デ・パルメイラで葬儀を執り行い、翌日パルキ・デ・パルメイラ墓地に埋葬いたしました。

生前ご厚誼を賜りました皆様に謹んでお知らせ致します。

略儀ながら書面にて皆様方に御礼方々ご挨拶申し上げます。

二〇一一年五月九日

喪主 父 渡辺繁
母 渡辺和江
妹 渡辺朱美

なお、香典返しの際は略させていただきます、寸志を左記の通り寄付させて頂きましたのでご了承の程お願い致します。

汎アマゾンニア日伯協会
アマゾンニア日伯援護協会

死亡通知並びに会葬御礼

父、池田満(六十八歳)儀、去る六月二十五日自宅にて安らかに永眠いたしました。葬儀は翌日二十六日に自宅にて執り行い、バルキ・デ・パルメイラで火葬いたしました。

生前ご厚誼を賜りました皆様に謹んでお知らせ致します。

略儀ながら書面にて皆様方に御礼方々ご挨拶申し上げます。

二〇一一年七月六日

喪主 長男 池田悟
次男 池田猛
長女 池田歩

なお、香典返しの際は略させていただきます、寸志を左記の通り寄付させて頂きましたのでご了承の程お願い申し上げます。

汎アマゾンニア日伯協会
アマゾンニア日伯援護協会
創価学会

死亡通知並びに会葬御礼

母、平田ひろ子(八十二歳)儀、去る七月二日アマゾンニア病院にて永眠いたしました。同日、ノッサ・セニエラ・デ・ファチマで葬儀を執り行い、翌三日マクドミニニ墓地に埋葬いたしました。

生前ご厚誼を賜りました皆様に謹んでお知らせ致します。

略儀ながら書面にて皆様方に御礼方々ご挨拶申し上げます。

二〇一一年七月十一日

喪主 長女 平田きょうこ
次女 渡部きくえ
長男 平田のぶお
三女 月れいこ
五男 平田すすむ
四女 平田すえこ
他 親族一同

なお、お礼の儀は略させていただきます、寸志を左記の通り寄付させて頂きましたのでご了承のほどお願い申し上げます。

汎アマゾンニア日伯援護協会
アマゾンニア日伯協会

死亡通知並びに会葬御礼

妻、中畑西尾サチ(六十歳)儀、去る七月十八日自宅にて永眠いたしました。翌日葬儀を執り行い、パルキ・デ・パウメイラ墓地に埋葬いたしました。

生前ご厚誼を賜りました皆様に謹んでお知らせ申し上げます。

葬儀に際しましてはご多忙中にもかかわらず、遠路よりご会葬頂き、その上、過分なるご香典、ご供花を賜り厚く御礼を申し上げます。

略儀ながら本誌をもちまして御礼方々ご挨拶申し上げます。

二〇一一年七月二十六日

なお、香典返しの際は略させていただきます、寸志を左記へ寄付させて頂きましたのでご了承のほどお願い申し上げます。

アマゾンニア日伯援護協会
厚生ホーム

死亡通知並びに会葬御礼

夫、松尾喜一郎(七十一歳)儀、去る七月二十七日アマゾンニア病院にて永眠いたしました。翌日カトリック教会にて告別式を執り行い、同日サンタイザベル墓地に埋葬いたしました。

生前ご厚誼を賜りました皆様に謹んでお知らせ致します。

また、葬儀に際しましてはご多忙中にもかかわらず、遠路よりご会葬いただき、その上過分なるご香典、ご供花を賜りご厚志のほど心よりお礼申し上げます。

本来ならば皆様お一人おひとりにお礼を申し上げるところですが、略儀ながら書面にて皆様方に御礼方々ご挨拶申し上げます。

二〇一一年八月八日

喪主 妻 松尾和子
長女 上岡真佐子
夫 上岡司
次男 松尾優
妻 松尾ちずる
三男 松尾健児
妻 松尾ミネーヤ
他 親戚一同

なお、香典返しの際は略させていただきます、寸志を左記の団体へ寄付させて頂きましたので何卒ご了承ください。

汎アマゾンニア日伯援護協会、サンタイザベル・サントアントニオ日伯文化協会、同ゲートボール愛好会

死亡通知並びに会葬御礼

夫、下前原晃(享年72才)儀、去る八月十四日アマゾンア病院にて入院中、急逝致しました。翌日葬儀の後、パルメイラ墓地へと埋葬致しました。

生前ご厚誼を賜りました皆様方に謹んでお知らせ申し上げます。

尚、葬儀に際しましては過分なるご香料、ご供花を賜り誠にありがとうございました。本来ならば参上の上御礼申し上げるべき所略儀ながら本誌上にて、皆様方に御礼申し上げます。賜りましたご香典の一部は故人の入院経費へ使用させて頂きました事を何卒ご了承下さい。

二〇一一年九月二十八日

喪主 妻 下前原フミ子

長男 義雄

妻 エリーザ

長女 関ゆかり

夫 かずひろ

次男 清

次女 島川一江

夫 誠

他 親戚一同

尚、左記の団体に寸志を寄贈させて頂きました。

アマゾン日伯援護協会
崇教真光

北川福一元会長永眠

11月23日午後2時、北川福一氏(84歳)が入院中のアマゾンア病院にて永眠されました。

北川氏は1991年3月から93年7月までと94年8月から97年3月までの計4年7ヶ月に渡って当協会会長職を務められ、長き渡り協会の運営に貢献されました。
慎んでご冥福をお祈りいたします。



TITULOの追加契約と医療保険カルネの未着について

■旧医療保険サービスタイトロから新医療保険への追加契約について
2011年5月5日、旧医療保から新医療保に切替え、あるいは追加契約を推進する法令RN254号(第2回目)が交付され、同年8月3日より、加入者に対して、切替え、あるいは追加契約の勧誘を行使せよと発令されました。ところが、この法令によると契約の切替えは料金の制限はありませんが、追加契約の場合、その値上幅は20%強に設定されておられ、これでは原価を割ってしまい、継続は困難となります。現在の旧医療保険のコスト計算の結果、90%以上の値上げであれば、継続は可能と言う予測が出てきましたので、この資料を基にANSに対して、90%以上の値上げ許可を要請するところです。この要請がANSで許可された場合、追加契約を推進することになります。

現在のところ、時期は未定ですが、実施の際は、必ず、事前にお知らせいたします。
もう一つ、大事なことは旧医療保険はいつたん契約が解除されると、再契約は出来ませんので、毎月のお支払が遅れないよう、ご注意ください。

また、現在、病気がちで、長期入院、UTI、心臓外科手術などの可能性が高い場合は、速やかに、新医療保険(Saudcar)への切り替えをお勧めいたします。

★注意：切替えは旧医療保険契約書を解約し、新医療保険契約書に新たに加入する場合。

追加契約は旧医療保険契約書に追加項目(新医療保険契約並みの条項)を加える場合。

■医療保険カルネの未着

今年、月掛金のカルネが到着しないと、新、旧医療保険加入者の皆様から沢山、お叱りを受けております。ここでお詫び申し上げますとともにこの間の事情をご説明申し上げます。

これまで、医療保険のカルネは当医療保険部より加入者別の月掛金データーを一括して、ブラジル銀行へ送り、同銀行でカルネを作成し、発送しております。ところが同銀行のコンピュータシステムにおいて、使用番号はこれまで11桁でしたが、これが一杯になり、入力が不可となり、これを12桁に増やす変更作業が手間取り(3ヶ月間)9月までかかり、10月に漸く正常化致しました。

同時に、銀行のスト、郵便局のストなどの事情も重なり、通常に着かないこともあるかと思っております。今後はお手数をお掛け致しますが、次のように善処願います。

毎月20日を過ぎてもお支払カルネが届かない場合、planoamazonia@gmail.com宛または電話911-3184-7688/FAX911-3249-5686まで貴殿のメールアドレスあるいはFAX番号をご連絡いただき、カルネの再発給をご請求いただければ、折り返しカルネを送付いたしますので、そのカルネでお支払が可能となります。

ご家族の中にきつとメールアドレスをお持ちの方がおられると思います。どうしてもメールアドレス、FAX番号が無い場合は、郵送、あるいは、大変恐縮ですが、当協会に直接来訪してお支払いただくこととなります。

以上、大変ご迷惑をお掛け致しますがよろしく願います。

CENTRAL DE ATENDIMENTO PARA MARCAÇÃO DE CONSULTAS ; 3084-5433
HOSPITAL AMAZÔNIA – GERAL ; 3084-5422

ONCOLOGIA 腫瘍科

- Dra. Rosana Dias Coelho de Mattos
Horário: 5ª - 15:00 as 16:00

ORTOPEDIA E TRAUMATOLOGIA 整形外科

- Dr. Edvaldo Costa Júnior
Horário: 2ª e 5ª - 08:00 as 11:50
/ 2ª - 14:00 as 17:00
- Dr. Paulo Satoshi Koyama
Horário: 3ª a 6ª - 15:00 as 17:30
- Dr. Walter Kenji Tsuchiyama Koyama
Horário: 3ª e 6ª - 08:00 as 11:00
- Dr. Fabrício Guimarães Santos
Horário: 4ª - 10:00 as 12:00

OTORRINOLARINGOLOGIA 耳鼻咽喉科

- Dr. Paulo Akira Onuma
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 10:45
- Dr. José Walter de Castro Moura
Horário: 2ª a 6ª - 17:00 as 18:30

PEDIATRIA 小児科

- Dra. Rozinha Mieko Kudo
Horário: 2ª, 3ª, 5ª e 6ª - 08:30 as 12:00
/ 2ª e 6ª - 14:30 as 18:20
- Dra. Kézia Magalhães Ikuta
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 11:00
- Dra. Mikiko Onuki Ikeda
Horário: 2ª, 4ª, 5ª e 6ª - 13:00 as 15:00
- Dra. Lury Iwasaka (Cardiologista)
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 11:00
- Dra. Marcelo Yokoyama (Gastropediatra)
- Dra. Mônica C. H. Sawada Yanaguibashi (Nefropediatra) 小児腎臓科
Horário: 3ª - 13:00 as 15:30

PNEUMOLOGIA 呼吸器科

- Dr. José Antônio E. Cortez Dias
Horário: 3ª e 5ª - 15:00 as 19:00
/ 5ª - 08:00 as 10:00
- Dr. Antônio Aluizio de O. Semblano
Horário: 2ª, 4ª e 6ª - 16:00 as 18:40

UROLOGIA 泌尿器科

- Dr. Alfredo Takeru Honda
Horário: 2ª a 6ª - 14:00 as 18:00
- Dr. Lauro José Queiro
Horário: 3ª, 5ª e 6ª - 08:00 as 09:30
- Dr. Mauricio Asviar
Horário: 2ª - 10:00 as 11:45
/ 4ª - 08:00 as 11:45 / 6ª - 11:00 as 13:00

ODONTOLÓGIA 歯科

- Dra. Maria Celeste Yurie Toda Sawada
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 12:00
- Dra. Elza Hiromi Eguchi
Horário: 2ª a 6ª - 14:30 as 18:00

Ala Dr. Henrique Oti

[INECAD/ENDONIKKEI:3259-7970/3229-0133]

[OFTALMAZÔNIA:3249-3373]

ANESTESIOLOGIA 麻酔科

- Dra. Rosa Beltrão
Horário: 3ª - 12:00 as 13:00 / 5ª - 12:00 as 14:00

COLOPROCTOLOGIA 肛門科

- Dr. Helder Costa Ikegami
Horário: 2ª - 14:00 as 16:00 / 3ª - 11:00 as 12:00
/ 4ª - 16:30 as 18:00 / 5ª - 14:00 as 16:00

GASTROENTEROLOGIA 消化器内科

- Dr. Edson Yuzur Yasojima
Horário: 2ª, 4ª e 5ª - 16:00 as 17:45
- Dra. Eliza Hiroko Iwashita
Horário: 3ª - 17:00 as 18:00 / 6ª - 12:00 as 14:00
- Dr. Henrique Takeshi Oti
Horário: 2ª a 6ª - 08:00 as 09:00 e 14:00 as 16:00
- Dr. André Takashi Oti
Horário: 2ª - 16:30 as 18:00 / 3ª - 12:00 as 13:00
/ 4ª - 10:00 as 12:00 / 6ª - 13:00 as 14:00
- Dr. Helder Costa Ikegami (Gastro e Coloproctologia)
Horário: 2ª - 14:00 as 16:00 / 3ª - 11:00 as 12:00
/ 4ª - 16:30 as 18:00 / 5ª - 14:00 as 16:00

- Dr. Marcedo Yokoyama

Horário: 2ª e 4ª - 08:00 as 09:00

OFTALMOLOGIA 眼科

- Dr. Robson Seiji Koyama
Horário: 3ª - 14:00 as 17:00 / 4ª e 5ª - 08:00 as 11:00
- Dr. Ângelo Leite de Carvalho
Horário: 2ª - 08:00 as 11:00 e 14:00 as 17:00
/ 6ª - 08:00 as 11:00
- Dr. Onaldo Araújo Nascimento
Horário: 3ª - 08:00 as 11:00 / 4ª e 5ª - 15:00 as 17:00

PSICOLOGIA 心理科

- Dr. Miguel Henrique Alves Jr.
Horário: 2ª e 4ª - 18:15 as 19:00
/ 3ª e 5ª - 12:15 as 13:00

HOSPITAL AMAZÔNIA DE QUATRO-BOCAS-TOME-AÇU

[Geral:3734-1035]

CLÍNICA GERAL, GINECOLOGIA E OBSTERÍCIA

- Dr. Roberto de Andrade Shinkai
Horário: 2ª, 3ª, 5ª e 6ª - 7:30 as 11:30
/ 2ª e 6ª - 13:30 as 17:30

CLÍNICA GERAL

- Dra. Josineide de Souza
Horário: 4ª - 7:30 as 11:30
/ 3ª, 4ª e 5ª - 13:30 as 17:30

★土曜日の診療は
交代制
(7:30 as 11:30)



アマゾンア病院医局診療時間 [予約: 3084-5433]

CORPO CLINICO DO HOSPITAL AMAZÔNIA

ALERGOLOGIA E IMUNOLOGIA アレルギー・免疫科

- Dr. Juliano Ximenes Bonucci
Horário: 5ª e 6ª - 14:00 as 17:00

ANESTESIOLOGIA 麻酔科

- Dr. Mikihiko Ikeda
- Dra. Eliana Ikeda Bastiani
- Dra. Rosa Maria Beltrão
- Dra. Neco Kawamura
Horário: 3ª - 13:00 as 14:00

ANGIOLOGIA E CIRURGIA VASCULAR 脈管科・血管科

- Dr. Murilo Vasconcelos de Oliveira
Horário: 2ª e 6ª - 14:30 as 16:15
- Dr. Fabio Akimaru Kudo (Cirur. Endovascular)
Horário: 2ª e 4ª - 10:00 as 12:00
/ 6ª e Sab. - 10:00 as 12:00
- Dr. Silvio Jorge de Oliveira Bentes
Horário: 3ª - 15:00 as 16:00

CARDIOLOGIA 心臓内科

- Dr. Jaime Koiti Tsukimata
Horário: 2ª, 4ª, 5ª e 6ª - 8:00 as 11:15
- Dr. Tadeu Daibes
Horário: 2ª a 5ª - 10:00 as 11:30
- Dr. Rilton da Silva Alves
Horário: 3ª - 09:00 as 11:00
/ 4ª e 5ª - 14:00 as 16:00

CIRURGIA DE CABEÇA E PESCOÇO 頭頸部外科

- Dr. Alcyr Luis de M. Araújo
Horário: 4ª - 12:00 as 13:00

CIRURGIA GERAL 一般外科

- Dr. Edson Yuzur Yasojima
- Dr. Henrique Takeshi Oti
- Dr. Andre Oliveira
- Dr. Tarik Olivar de Nunes Valente

CIRURGIA DA OBESIDADE 肥満症外科

- Dr. André Takashi Oti
- Dr. Helder Costa Ikegami
- Dr. Pedro Hage

CIRURGIA PLÁSTICA E MICROCIRURGIA 形成外科・微小外科

- Dr. Yuji Ikuta
Horário: 2ª a 6ª - 15:30 as 18:00
- Dr. Jorge Reis Carvalho
Horário: 2ª a 6ª - 07:30 as 09:00
- Dr. Clayton Higashi Sawada
Horário: 4ª - 14:00 as 16:30

CIRURGIA TORÁCICA 胸部外科

- Dr. Wilson Yoshimitsu Niwa
- Dr. José A. Esteves Cortez Dias

CLÍNICA MÉDICA 一般内科

- Dr. Francisco Xavier Igarashi
Horário: 2ª, 5ª e 6ª - 09:00 as 10:00
/ 2ª a 6ª - 14:30 as 17:30
- Dr. Cláudia Sayuri Abe
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 11:00 e 15:30 as 17:00
- Dr. Rui Gomes Kahwage
Horário: 2ª - 13:00 as 14:00

COLOPROCTOLOGIA 肛門科

- Dr. José Getúlio de Lima
Horário: 2ª a 5ª - 08:00 as 09:45

- Dr. Helder Costa Ikegami

DERMATOLOGIA 皮膚科

- Dra. Helena Sawada Toda
Horário: 3ª, 4 e 5ª - 10:00 as 11:00
/ 2ª e 6ª - 14:00 as 15:00
- Dra. Mara Rúbia Guimarães Drago
Horário: 2ª - 16:00 as 17:50
/ 4ª - 16:00 as 16:50 / Sab - 9:00 as 11:00
- Dr. Mauro Leal
Horário: 2ª e 6ª - 10:00 as 12:00
/ 3ª e 5ª - 16:00 as 18:00

ENDOCRINOLOGIA 内分泌科

- Dr. Teiichi Oikawa
Horário: 3ª, 5ª e 6ª - 16:00 as 19:00

GERIATRIA E MED. DE FAMÍLIA E COMUNIDADE 成人病・家庭医

- Dr. Yuji Magalhães Ikuta
Horário: 2ª e 4ª - 17:00 as 18:30

GINECOLOGIA E OBSTETRÍCIA 産婦人科

- Dr. Alcy Tokizo Yanaguibashi
Horário: 2ª a 5ª - 13:00 as 14:30
- Dr. Akinori Muto
Horário: 2ª a 6ª - 09:00 as 11:00
- Dra. Kiyoko Sasamoto
Horário: 2ª a 6ª - 15:00 as 17:30
- Dra. Kazuko Kawamura
Horário: 2ª a 6ª - 09:30 as 11:30 e 15:30 as 16:50

HEMATOLOGIA E HEMOTERAPIA 血管・血管症科

- Dra. Regina Glória F. de Souza
Horário: 6ª - 14:30 as 18:00

INFECTOLOGIA 感染症科

- Dra. Maria do Socorro Siliva Rodrigues
Horário: 4ª - 13:00 as 14:30

MASTOLOGIA 乳房科

- Dr. Ângelo Sávio de Oliveira Calderado
Horário: 3ª e 5ª - 16:00 as 18:00

NEUROLOGIA E NEUROCIRURGIA 脳神経科・脳神経外科

- Dr. José Takao Yamaki
Horário: 3ª e 5ª - 10:00 as 12:00

OFTALMOLOGIA 眼科

- Dra. Eliana N. Magalhães Modesto
Horário: 3ª e 5ª - 08:30 as 11:30
- Dr. Roberto Batista Ramaos
Horário: 4ª e 6ª - 08:30 as 12:00
- Dra. Zeneide Vilhena Campbel Gomes
Horário: 2ª a 6ª - 16:00 as 17:30
- Dr. Robson S. Koyama
- Dr. Ângelo L. de Cavalho
- Dr. Onaldo A Nascimento

★診療時間が掲載されていない医師については、「Ala Dr. Henrique Oti」(14ページ)をご参照ください。



Centro Educacional
Kyoko Oti

TOME A DECISÃO CORRETA!

TURMAS INTEGRAL

EDUCAÇÃO INFANTIL | ENS. FUNDAMENTAL (CRIANÇAS A PARTIR DE 01 ANO E 6 MESES)

Ensino Fundamental do 1º ao 5º ano



TOMAR DECISÃO ÀS VEZES PARECE DIFÍCIL.
PARA FACILITAR A SUA, O **CEKO** TEM:

- > Qualidade de ensino comprovada pelos Pais;
- > Ensino Trilingue (português, inglês e japonês);
- > Educação para o Desenvolvimento Cidadão;
- > Método Montessoriano para a Ed. Infantil, que desperta na criança a independência, a disciplina e a autoconfiança.
- > Aulas extra-classe como: Karatê, Ballet, Música Instrumental, Informática etc.

Garanta logo a vaga para seu filho!

Tv. Castelo Branco, 1371- Fone: (91) 3249-2112 / 3259-4423
www.ceko.com.br ou falecom@ceko.com.br

日本語



Curso de Língua Japonesa

:: Básico
:: Intermediário
:: Avançado

:: Aulas Particulares
:: Turmas aos Sábados
:: Preparatório p/ Proficiência

登録は、お済みですか？

在外選挙投票には、事前の登録が必要です。

■登録資格

1. 満20歳以上の日本国籍をお持ちの方
2. 以下のいずれかの州にお住まいの方
アマパー、パラ、ピアウイ、マラニョン
3. 日本国内の市区町村に転出届を提出済みの方

■必要書類

1. 身分証明書（イデンチダーテなど）
2. 住所を証明できる書類（電気、電話代の領収書など）
3. 住民票に記載されていた最終住所地のメモ
（1994年5月以降に日本を出国された方のみ）

■申請場所

在ベレン総領事館窓口

（月～金曜日、午前9～12時、午後1時半～5時）



在ベレン総領事館

Av. Magalhães Barata, 651 Edifício Belém

Office Center, 7º andar

CEP 66063-240, Belém, Pará

電話：（91）3249-3344

ホームページ

<http://www.belem.br.emb-japan.go.jp/pt/jp/index.html>

O passado, presente e futuro dos Associados da Beneficência Nipo-Brasileira da Amazônia – Anuidade dos Associados de 2011

Dessa forma, manter a filantropia e a absorção de 20% sobre a receita por meio da prestação de serviços sócio-assistenciais tornou-se impraticável, culminando com o fechamento do ambulatório e possivelmente com a suspensão da Carteira dos Anciões.

Assim, talvez seja mais realista adaptarmos a finalidade do Estatuto Social para que possamos voltar o atendimento às necessidades da comunidade japonesa: "... se propõe a dar assistência social, moral, material às pessoas necessitadas, sem distinção de nacionalidade, de religião ou de cor, concedendo atendimento concreto e gratuito, em primeira instância à comunidade nikkey necessitada evitando a proliferação sua exclusão social."

Como os senhores(as) tem conhecimento, no dia 11 de março deste ano, ocorreu calamidade de proporção catastrófica, principalmente em Fukushima-ken onde o terremoto causou acidente nuclear e que até o momento não há previsão para ser sanado.

A febre de kassegui que levou um grande número de nikkey da Amazônia está com os dias contados. Pode-se prever que as dificuldades que o Japão enfrentará para se reerguer poderá atingir os de kassegui instalados lá, fazendo-os retornem para o Brasil.

A nossa entidade está se movimentando para desenvolver um programa voltado para absorção das problemáticas trazidas por esses de kassegui para que os mesmos não sofram qualquer tipo de exclusão social, pois penso que esta deva ser o objetivo maior da entidade e dos associados para fortalecer nossas ações sociais e de saúde na Comunidade Nikkey.

Atualmente o associado contribui com anuidade (R\$ 200,00 anual) e sócio contribuinte (R\$ 20,00 mensais ou R\$ 240,00 anual). No futuro próximo, estamos examinando a possibilidade de juntar os dois pagamentos no valor de R\$ 50,00 mensais ou R\$ 600,00 anual; caso isso seja viável e consigamos alcançar

uma meta de 1.000 associados haverá receita de R\$ 50.000 mensais ou R\$ 600.000 anual, valor suficiente para manter o Serviço Social e o Centro de Reabilitação Social.

Seguindo o princípio da bolsa de valores, de que ações valem dinheiro, a idéia seria transformar dinheiro em votos. Se houvesse a possibilidade de uma cota anual (R\$ 600,00) equivaler um voto e, subsequentemente, duas cotas anuais (R\$ 1.200,00) equivalerem dois votos; o número de associados e votos aumentaria e seria racional dizer que são os melhores colaboradores da entidade que escolherão sua Diretoria.

Se equivalermos o trabalho voluntário a R\$ 50,00 diários. Muitos podem achar que esse valor seja irrisório para um dia de trabalho voluntário. Porém, ainda no campo das possibilidades, se um associado trabalhar voluntariamente durante 12 dias, ele teria direito a um voto. Sendo a eleição realizada de dois em dois anos, supondo que o associado voluntário trabalhe 24 vezes, este teria direito a 2 votos; em 360 dias teria direito a 30 votos, como até um tempo atrás houve um voluntário, de segunda a sexta, no Centro de Reabilitação Social. Se essa idéia for aprovada, talvez possibilite um dia, que o mesmo funcione com metade de voluntários em seu quadro funcional.

O sistema misto de pagamento ou o sistema de voluntariado será uma opção pessoal de cada associado. Pois, para que uma idéia se torne real é necessário que recebamos uma opinião favorável ou não, mesmo que seja um "Muito Importante", um "Interessante" ou um "totalmente fora da realidade". Estaremos aguardando ansiosamente por sugestões.

Por ora, a Comissão da Diretoria deliberou em janeiro deste ano, que o valor da anuidade continuará o mesmo, R\$ 200,00 dividido em 2 parcelas de R\$ 100,00; cujo carnê estará disponível aos associados para pagamento até o final de dezembro.

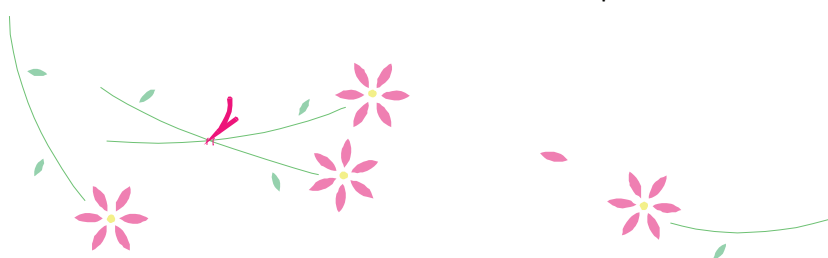
Uma comunidade cada vez mais próspera e fortalecida em 2012. Este não é apenas nosso desejo para o Ano Novo, é também o ideal que tem motivado nosso trabalho à frente da Câmara de Comércio e Indústria Nipo-Brasileira do Pará.

Através da cooperação mútua com as entidades nipo-brasileiras aqui instaladas, queremos contribuir para o progresso da comunidade nikkei nesse Estado que nos adotou e que adotamos como terra pátria, mas sobretudo para o desenvolvimento socioeconômico da Amazônia e de toda sua população, pois acreditamos que só crescemos se todos prosperarem juntos.

A todos, nossos votos de Feliz Natal, muita saúde, paz e prosperidade em 2012!

Fernando Teruó Yamada

Presidente da Câmara de Comércio e Indústria Nipo-Brasileira do Pará.



Sabadão do Centro de Reabilitação Social

Agora todo primeiro sábado do mês é dia de Bazar no CRS- Centro de Reabilitação Social. São vendidos roupas e objetos usados a partir de R\$ 1,00, plantas diversas e artefatos produzidos pelos próprios voluntários e funcionários da Casa de Repouso. Aproveitamos este espaço para solicitar doação de roupas, objetos, mangás usados aos leitores. Aceitamos também doação de artefatos manuais.

Maiores informações pelo tel: 3263-0912 com Akiko ou Sra.Nakata.



BOLETIM INFORMATIVO

BENEFICÊNCIA NIPO-BRASILEIRA DA AMAZÔNIA

Ano 2012 Edição nº 99, 100

Comissão de Divulgação: Teiichi Oikawa, Edson Yasojima,
Isao Ota, Wilson Niwa, Nilson Hayashida, Gerson Nisizumi,
Cristina Murakami, Suzuko Nakata e Miguel Alves Jr
Edição: Hiromi Tanaka

Expediente
Beneficência Nipo-Brasileira da Amazônia (BENAMA)
Boletim Informativo

Sede: Tv.9 de janeiro ,1267 Belém-Pará
Bairro: São Bráz CEP.66.060-370
Tel: 55.91.3184-7689
E-mail: enkyo2005@yahoo.co.jp

Feliz Ano Novo!
Saúde e Prosperidade a todos.

Em março deste ano, nossa Comunidade Nikkey ficou estarecida diante das notícias amplamente divulgadas mais tarde pelo título de "Higash Nippon Daishinssai". Ninguém, mesmo em seus piores pesadelos imaginaria enfrentar uma catástrofe de proporções tão grandiosas. Nós, que somos conterrâneos sofremos juntos e nos sentimos solidários com a região de Tohoku que foi mais atingida e eu, principalmente por Miyagui, minha terra natal.

2011 foi um ano cheio de provações para nossos compatriotas japoneses, sem que haja uma solução efetiva para o vazamento nuclear e assim, a luta continuará pelos próximos anos até sua total recuperação. No entanto, ao ver as imagens das pessoas atingidas pela tragédia se reerguendo, penso receber um pouco de sua coragem e rezo para que nossa bela terra natal se recupere o mais brevemente.

Este ano também foi um ano de provações para a nossa entidade, grandes decisões foram tomadas e algumas melhorias foram realizadas. Porém, estima-se que em 2012 haja muitas dificuldades para enfrentarmos. Por isso, solicito a força e colaboração de cada associado para que juntos possamos superar esta crise.

Na esperança de que o Boletim Informativo continue sendo um canal de comunicação entre nossa entidade e a comunidade, nossa edição comemora esta impressão de nº 100. Encerro as palavras a mim conferidas como Presidente desta entidade agradecendo a todos que contribuíram direta ou indiretamente para que as nossas atividades fossem realizadas, no ensejo de sua continuidade em 2012.

Teiichi Oikawa
Presidente da Beneficência Nipo-Brasileira da Amazônia